

5

I am ~. Are you ~? の文

学習日

1 「わたしは～です。」の文

次の文を、先生のあとについて、声に出して読んでみましょう。

I am hungry.



I([アイ]と発音します)は、自分のことを指して言うことばで、日本語の「わたし」「ぼくは」「おれは」などにあたります。hungry([ハングリィ]と発音します)は、「おなかがすいている」という意味です。この文は「わたしは おなかがすいています。」という意味になります。

Iとhungryの間にあるam([アム]と発音します)は、どのような働きをしているのでしょうか。次の(1)~(3)の文をくらべてみましょう。

- (1) **I** am **hungry** . わたしは **おなかがすいて** います。
- (2) **I** am **Kenji** . ぼくは **健二** です。
- (3) **I** am **a student** . わたしは **学生** です。

(1)~(3)は、文の意味はちがいますが、同じしくみでできています。つまり、amは□の部分と○の部分で= (イコール) の関係で結ぶ働きをしているのです。

参考 a の意味

a (「ア」と発音します) は、I「わたしは」と同じように、アルファベット1文字でできている単語です。意味は「ひとりの」や「ひとつの」ですが、日本語では「ひとつ」という数を毎回示すことはありません。これも英語のルールです。(1)~(3)で、(3)のstudentにはaがつき、(1)や(2)のhungry, Kenjiにはaがつかない理由を考えてみましょう。

2 「わたしは～です。」の文の練習

例にならって、下線の部分を①~④のことばにかえて、「わたしは～です。」の文を書きましょう。

例 **I am Kenji.** → **Hiroshi**

I am Hiroshi.

① **Yumi**

② **Mike** * 「マイク [男性の名前]」
[マイク]

③ **happy** * 「うれしい, しあわせな」
[ハッピー]

④ **a teacher** * 「教師, 先生」
[ティーチャ]

3 「あなたは～ですか。」と質問する文

次の文を、先生のあとについて、声に出して読んでみましょう。文の終わりは、上がり調子に読みます。

Are you hungry?

you(「ユー」と発音します)は、話をしている相手を指して言うことばで、日本語の「あなたは」「きみは」などにあたります。文の終わりの?は、クエスチョンマークと言い、質問の文のときに使います。この文は「あなたは おなかがすいて いますか。」と相手に質問する意味になります。

では、文のはじめにある are(「アー」と発音します)は、どのような働きをしているのでしょうか。次の(1)、(2)の文をくらべてみましょう。

(1) **I** am **hungry** . わたしは おなかがすいて います。

(2) **You** are **hungry** . あなたは おなかがすいて います。

are は の部分と の部分を=(イコール)の関係で結ぶ働きをしています。つまり、am と are は同じ働きをする単語なのです。(ただし、I are や、You am とすることはできません。)

それでは、(2)の文をさきほどの質問の文とくらべてみましょう。

(2) **You are hungry.** あなたは おなかがすいて います。

(3) **Are you hungry?** あなたは おなかがすいて いますか。



質問の文にするときの語順がわかりましたか。

実際に使うことはあまりありませんが、「わたしは～ですか。」という質問の文は Am I ~? となります。

参考 イントネーション

単語を読むときにはアクセント(音の強弱)に気をつけることが大切ですが、文を読むときにはアクセントのほかに、上がり・下がりも大切です。これをイントネーションと言います。**Are you hungry?** は、文の終わりを上がり調子に読みます。

4 「あなたは～ですか。」と質問する文の練習

例にならって、①～④を「あなたは～ですか。」と相手に質問する文にかえましょう。

例 **You are hungry.**

Are you hungry?

① **You are Ken.**

② **You are Yumi.**

③ **You are sad.** * 「悲しい」
[サッドゥ]

④ **You are a student.**